



市長とランチミーティング 33

ヤシガニ保護条例制定を目指して！

第31回「市長とランチミーティング」は3月27日(水)に「県立八重山高等学校生物部」の皆さんと行われました。

中山市長 八重山高等学校生物部の皆さんの活躍ぶりは、新聞等で見ていても嬉しく思っています。今日は皆さんの日々の研究成果を発表してもらおうという事なので楽しみにしています。今日はヤシガニの話をしていただくという事で、石垣市もヤシガニを八重山の貴重な資源として守っていきたいと思っておりますので、皆さんの研究成果を今後活かしていければと思っています。

部員 私たち生物部はヤシガニに関するアンケートを八重山高校文化祭で来場者や生徒に行いました。すると、「ヤシガニを見たことがある」69%、「ヤシガニを食べたことがある」57%でした。「ヤシガニを食べたことがある」と答えた人の中で食べたヤシガニの大きさを聞いたところ一番多かったのが800グラム以上で半数近くいました。食べた場所は飲食店が半数。食べてみての感想は60%以上の人が「美味しかった、また食べたい」という答えでした。ヤシガニはオカヤドカリ科に分類され陸上で生活する甲殻類最大の生物であり、成長するのが遅く1kgになるのに20年掛かるといわれています。雑食で木の実や鳥の死がい等なんでも食べます。琉球列島

が生息地の北限と言われている日本では宮古、八重山地方に生息しています。環境省の絶滅危惧種が掲載されているレッドリストにアオウミガメやアホウドリといった希少生物と共にヤシガニも掲載されています。ヤシガニは陸で卵を産み、孵化した幼生を海へ離します。なんども脱皮を繰り返しながら海と陸を行き来しながら成体へと成長し、やがて完全上陸するといわれています。

これまでの先輩たちの研究から石垣島では平久保に多く個体が生息していると思われまます。海洋博とのデータの比較から石垣島の個体は、人による捕獲の無い海洋博の個体に比べ圧倒的に小さく、石垣島では長年にわたって人間による捕獲が行われているという事が推測できます。各地で繁殖期に罠が仕掛けられている事から乱獲が懸念されています。アンケートで「ヤシガニの保護は必要か」という問いに対して90%以上が必要だと回答しています。多良間村や宮古島市では甲羅の大きさが8センチ未満の個体は捕獲してはならない、繁殖期に罠を仕掛けて捕獲してはいけないという保護条例があります。私たちは多くの方に八重山におけるヤシガニの危機的状况

を知ってもらい、長年ヤシガニの研究をしてきた私たちからヤシガニの保護を訴え、ヤシガニ保護条例の制定実現に向けて声を上げていきたいと思っています。



仲本環境課長 石垣市も宮古島市や多良間村の条例を研究しており、保護区域を設けるなどしていかなければいけないと考えています。今、石垣市としてはヤシガニに関する保護条例がありませんが、今後みなさんの素晴らしい研究成果も参考にして条例制定に向けて準備をしていきたいと思っています。

吉村企画部長 まずは科学的に根拠をしっかりと持つていなければいけない中で、皆さんの研究データはかなり貴重な資料になります。条例制定については、捕獲できる大きさや、場所、期間など専門的な機関からも意見を聞きながら調整していかなければなりません。皆さんの研究にプラスした補足データを集めるために一定の期間を要するし、場合によっては専門家や地域の人たちで調査委員会を設けるなどして方向性を示していくという事が必要になります。その委員会の中に皆さんが入ることも可能だと思います。委員会の中でしっかりと議論したうえで条例制定に向けた準備をしていく事が必要です。

中山市長 アンケート結果の中で、90%以上の人がヤシガニを守りたいという意見があるので、石垣市としてヤシガニを守っていくという事になれば石垣市の条例という形で保護に関するルール作りが可能になります。過去にも市議会議員の方からヤシガニの保護条例を制定してはどうかという質問もありましたので、ぜひ前向きに話を進めていきましよう。ちなみに、生物部はどこかの研究機関と連携したりしているのですか？



部員 私たちの研究で使っているデータは海洋博と連携しながら情報提供してもらっているデータです。

中山市長 民間で商売をしている人にはヤシガニを売って商売をしている人もいるし、好きで食べている人もいるので、そういう人たちにもきちんと説明をしなければいけませんね。それをやった上で話を進めていかないといけないですね。

部員 ヤシガニを扱っている飲食店に話を聞くと、ヤシガニを注文する人の9割が観光客なんだそうです。さらに私たちが「ヤシガニ保護条例について賛成か反対か」を尋ねたところ、条例制定には賛成という意見もありました。お店の方の話によると、ヤシガニハンターのような方から頻繁にヤシガニを買い取って欲しいとの連絡があるようで、お店の方からもヤシガニの乱獲を心配する声もありました。

石垣島ではヤシガニが捕れないので、石垣の飲食店では宮古島のヤシガニを扱っている所もあるようです。そのくらい、石垣島のヤシガニの個体数が減ってきているという事ですね。

大得 企画政策課長 今後、八重山高校生物部としてどんな研究を進めていきたいと考えていますか？

部員 他の離島のヤシガニの生態も研究していきたいし、卵から幼生飼育までもう少し長く飼育できるように研究したいです。あとは、もともと私たちが研究していることや、ヤシガニを保護していく取り組みを広報していきたいと思っていますので、市役所にも協力して欲しいと思っています。発表会なども積極的に開いて市民の皆さんに周知していきたいです。

中山市長 みなさん今日はありがとうございます。条例の制定に関しては早めに調整していきます。皆さんの研究をしっかりと活かせるように取り組んでいきましょう。

